

2019 年度 日本リトルシニア 西日本選手権関西連盟中国支部大会

大会要綱

主 催	一般財団法人 日本リトルシニア中学硬式野球協会 関西連盟中国支部
協 賛	株式会社ハーカスレイ（ほっかほっか亭中国各店舗）
期 日	令和元年 6 月 15 日（土）、16 日（日）、22 日（土）、23 日（日）
予 備 日	令和元年 6 月 29 日（土）、30 日（日） ※会場未定
場 所	しまなみ球場ほか
競 技 方 法	関西連盟大会規定を採用する。（一部、大会特別規定を採用）
試 合 形 式	本戦トーナメント（代表決定戦）
大 会 副 賞	【大会出場権】優勝（2 チーム）：西日本選手権大会の出場権獲得
開 会 式	なし
閉 会 式	期：令和元年 6 月 23 日（日）：決定戦終了後（14:00 予定） 於：未定
参加チーム	日本リトルシニア関西連盟 中国支部加盟リーグ（全国大会等出場チーム以外）

抽 選 会	とき：令和元年 6 月 8 日（土） 於：広島市東区民文化センター：中会議室
参 加 費	大会規定額を納入（期日までに中国支部の口座に振込）
指 定 球	メーカー指定なし（但し、シニアリーグ公認球）試合ごとに 4 球
審 判 員	<ul style="list-style-type: none">● 準決勝まで：各チーム審判員 2 名（各チームから 1 名ずつ派遣） ※上記審判員については、審判部が発行する審判カード所持者に限る。● 決勝戦：本部審判員 4 名（各チームからの派遣なし）
審 判 弁 当	派遣人数分支給（各チーム：1 日 1 個まで）
参 加 要 件	<ol style="list-style-type: none">1. 本大会は、日本リトルシニア野球協会が発行する選手登録証所持者（コピー不可） のみ、ベンチ入りを許可する。（但し、スコアラー 1 名は除く）2. ベンチ入りできる選手は 25 名までとし、背番号は 1～25 番までとする。3. 専用球場を保有するチームは、当該試合の有無に関わらず、本大会の試合会場として協力できること。4. 本大会に参加する選手（指導者含む）ならびにチーム関係者は、全ての試合においてスポンサー弁当（@600 円）を注文すること。（但し、一部球場を除く）

競技要項（大会特別規定）

- 1 ベンチは若番が一塁側。ロージンは後攻チーム、ボールボーイは両チーム2名とする。（ボールボーイは原則ベンチ入り選手とし、アップシューズを着用）
- 2 各チーム派遣の審判員は、別紙対戦表に明記された墨審を担当する。
- 3 各球場のグランドルールは、試合開始前に各会場の責任審判員により説明を行う。
- 4 試合は7回または2時間制とし、5回をもって試合成立とする。（5回までは2時間超えても試合を行う）なお、試合成立後の延長戦は行わず、即タイブレイク（最大3回：1アウト満塁）を行い、なお同点の場合は最終出場メンバー（18名）による抽選にて勝敗を決定する。
※第4項の詳解は別紙を参照。
- 5 5回以降7点差および4回以降10点差をもってコールドゲームとする。（代表決定戦も含む）
- 6 メンバー交換は前試合3回終了後、大会本部が指定する場所にて、**事務局長・監督・代表選手1名が集合**し、所定のメンバー表（5部）を提出し、担当審判員並びに本部役員立ち会いのもと、ベンチ入りメンバーを照合のうえ、先攻後攻を決定する。
- 7 試合前のシートノックは7分間とし、ノック時のボールボーイは必ずヘルメットを着用する。なお、天候によってはサイドノックに変更する場合もある。（原則、各補助員は登録選手に限る）
- 8 原則、試合前のアップはフィールド内を使用しないこと。但し、外野フィールドにおいてはアップシューズ着用に限り、アップやキャッチボールを認める。（ノックやトスバッティングは禁止）
- 9 次試合チームの先発バッテリー1組に限り、**メンバー表交換後**、ブルペンに入って投球練習を行うことが出来る。（但し、ブルペン入場は、試合進行を妨げないよう細心の注意を払うこと）
- 10 ブルペン捕手は、スタンディングの場合であっても必ず防具を着用（特にキャッチ面）し、捕手の安全を守る保護選手を1名帯同させること。（保護選手も必ずヘルメットを着用すること）

その他の注意事項

- 1 各チームは、会場到着後、速やかに大会運営本部が指定する受付手続きを行うこと。
- 2 各チームは、当日の試合が全て終了し、会場を退出する際は、大会運営本部が指定する退場手続きを行い、「次回指示書」を受け取ること。
- 3 審判員は第1試合の試合開始40分前までに待機し、第2試合以降は、前試合3回終了前までに必ず審判控室にて待機する。（審判服は支部指定）
- 4 各チームの放送係は、第1試合の試合開始40分前までに必ず名札を付けて待機しておくこと。
- 5 審判へのお茶出しのアナウンスは行わない。（3回終了後のメンバー表交換のアナウンスは行う）
- 6 試合成績表の記録者は、名札を付け予備球を持って記録室に入室のこと。
- 7 各チーム応援団は、鳴り物やメガホン2本を叩いたり、球場器物を叩いての応援を禁止する。